

SGH 通信

高知県立高知西高等学校

〒780-8052 高知県高知市鴨部 2 丁目 5 番 70 号

TEL 088-844-1221 / FAX 088-844-4823

R1.11.8 海外リサーチ特別号

URL: <http://www.kochinet.ed.jp/nishi-h/>

【タイリサーチ】 10 月 26 日(土)～29 日(火)

令和元年度海外リサーチ(タイリサーチ)に、2 年生 5 名が参加しました。探究テーマは「タイ人を高知県へ」。タイから高知県への観光客を増やすにはどうすればいいかを考えるため、タイ(バンコク)で実施される「四国インバウンド商談会 in バンコク」に同行させていただきました。また、商談会以外にチームの現地でのリサーチ活動として、「タイ人の好む祭りは何か?」、「好みの味はどのようなものか?」を現地調査しました。実際に現地に行ったことで、インターネットや高知にはわからなかったことも見えてきた実りある 4 日間でした。

【タイの歴史や文化に触れました! 10 月 27 日】

10 月 26 日(土)にバンコクへ移動し、翌日 27 日は、公共交通機関やトゥクトゥク(オート三輪車)に乗って、有名な王宮(ワット・プラケオ)、寺院(ワット・ポー)に行きました。また、ウィークエンド・マーケットの視察を行い、タイの文化に触れました。



ワット・プラケオ(王宮)



ワット・ポーの涅槃仏



トゥクトゥク(オート三輪)

〔生徒の感想〕

ウィークエンド・マーケット



ドレスコード@ワット・プラケオ

- ・ワット・ポーは世界遺産というだけあって、かなり迫力がありました。
- ・近くで見ると細部にわたって装飾が施されていて、美しかったです。
- ・ワット・ポーでは、いたるところでお祈りをしているタイ人を見ました。日本人とは宗教に対する向き合い方が違うことを感じました。



- ・ワット・プラケオは、ワット・ポーに比べ、かなり制限があり、肌を見せてはいけないなど、厳しく取り締まられていました。
- ・ワット・プラケオでは、ダメージジーンズでの入場が許可されていなくて、注意を受けました。
- ・ウィークエンド・マーケットでは、多くの店が立ち並んでいて、さらに、低価格で多種多様なものが売られていました。



【四国インバウンド商談会 in バンコク 10月28日】

この商談会は、近年経済発展を遂げ、訪日客が急増しているタイに注目し、四国の認知度向上と誘客促進を図る目的で、四国銀行をはじめとする各種銀行と四国ツーリズム創造機構が連携して実施しているものです。

生徒達は、日本政府観光局（JNTO）バンコク事務所長からの「タイの訪日旅行市場について」の説明を伺った後、タイの旅行会社に向けた各事業所の商談の席に同席させていただきました。商談の場の雰囲気には生徒たちは緊張していましたが、各事業所が「少ない時間でいかにアピールするか、関心を持ってもらうか」を考えて、様々な方法で商談されている様子を、メモを取りながら熱心に見学していました。

【主な参加事業所名】

新ロイヤルホテル四万十	(有) ホテル高砂	(財) 高知県観光コンベンション協会	徳島県海外誘客室
(社) 愛媛県観光物産協会	四国八十八か所霊場	株式会社琴平グランドホテル	琴平バス株式会社

など合計17社

【生徒の感想】

- ・商談会では、タイ人は支払い方法に注目していることに気づきました。キャッシュレス決済やクーポン、割引券などの情報について四国側の企業に詳しく話を聞いていました。また、一つ一つの観光地へのアクセスについても、いろいろな場面を仮定しながら説明をしていました。



【現地調査実施！ 10月28日】

四国インバウンド商談会のブースをお借りして、タイ人の嗜好を知るため、「高知県産のお茶の試飲」と、タイ人がどのくらい日本の伝統文化に関心があるのかを知るため、「高知の祭りの視聴」を行いました。



【生徒の感想】

- ・タイ人の人たちは、意外と「どろんご祭り」に興味があった。
- ・お茶の試飲、お祭りの視聴を行ってみて、日本人(高知県人)とタイ人の好みは大きく違うということを感じた。
- ・お茶の試飲調査をしてみて、タイ人は甘みと苦みが苦手であることが分かった。
- ・気候が暑いため、タイ人は普段、温かいお茶を飲まないことが分かった。
- ・お祭りの調査については、選んだ理由として、そのお祭りが参加できるものか、参加できないものかの違いで選んだ人が多かった。

【アンケート調査結果（左:高知県産お茶の試飲 右:高知県のお祭りの視聴）】

